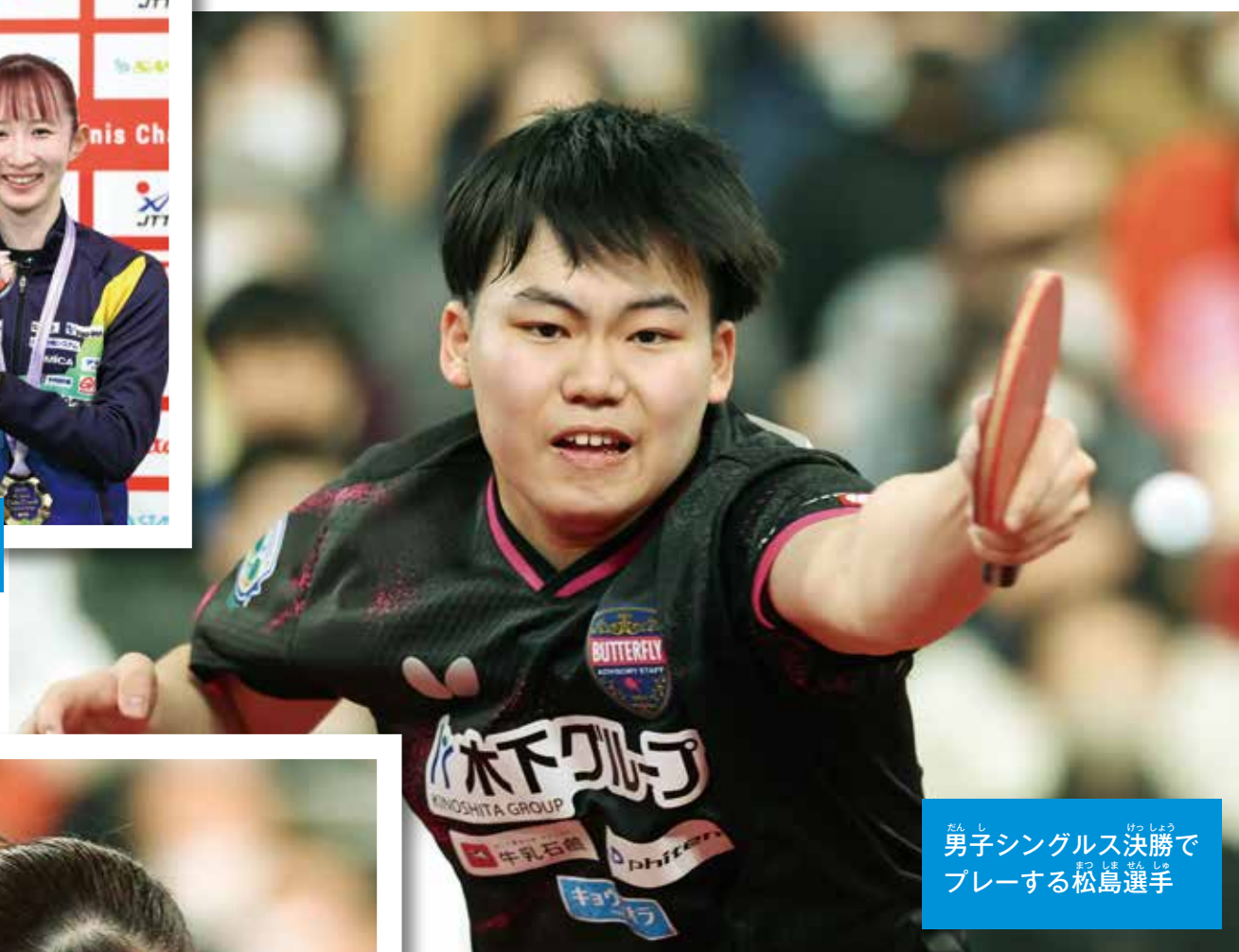
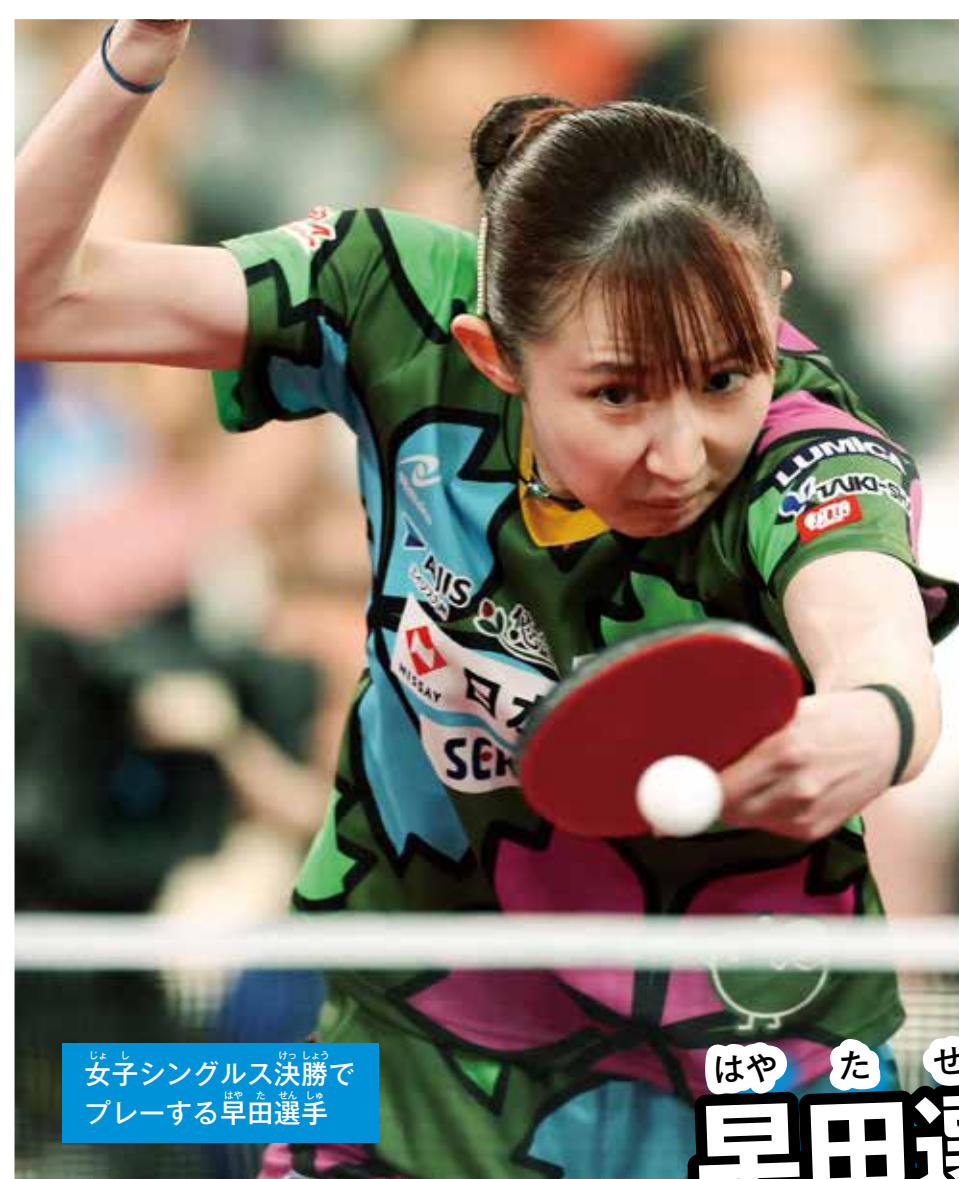




女子シングルスで優勝した早田選手(右)と男子シングルスで制した松島選手



男子シングルス決勝でプレーする松島選手



女子シングルス決勝でプレーする早田選手

全日本卓球

男子は17歳 松島選手初V

早田選手が貫録の3連覇

卓球の全日本選手権は1月21日から26日の間、東京都渋谷区の東京体育館でシングルが行われ、男子は17歳の松島輝空選手がパリ五輪代表に連勝し初優勝した。女子は早田ひな選手が3大会連続4度目の制覇。3連覇は石川佳純選手以来。今年からシングルスとダブルスが別開催となり、ダブルスは30日から愛知県豊田市で行われた。

松島選手は準決勝で前回覇者の張本智和、決勝は篠塚大と、両五輪代表選手を退けた。「自分は五輪に出られず悔しい思いをした。どこかの舞台で倒したいと思っていた」と秘めた思いを裏付けた。早田選手は決勝で、最年少優勝を目指した16歳の張本美和選手を4-0で下し、「強さより、うまく勝たないといけない。ここからシーズン2の始まり」と力強く話した。



フギアスケート成年女子坂本選手のフリーの演技



スピードスケート成年女子1500メートル決勝

スケート・

アイスホッケー競技会

冬季国スポ、岡山・群馬で開幕



ショートトラック成年女子1000メートル決勝

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会が26日に開幕し、岡山市で開始式が行われた。群馬県渋川市ではスピードスケートの競技が始まった。冬季大会のスケート・アイスホッケーが西日本で行われるのは初めて。大会は岡山、群馬両県を舞台に2月5日まで。スキー競技会は13、16日に秋田県で開催される。

フギアスケート成年女子は、世界選手権代表でシヨートプログラム(SP)首位の坂本花織選手(兵庫)がフリーも1位の147・76点をマークし、合計228・17点で優勝した。

